

令和2年度全国木材資源リサイクル協会連合会

第2回理事会 議事録

日 時 : 令和2年11月25日(水) 13:15~13:45

場 所 : 江東公会堂 ティアラこうとう B1F大会議室
(東京都江東区住吉 2-28-36)

総役員 : 理事 13名、監事 2名

出席 : 理事 6名 藤枝 慎治、鈴木 隆、中野 光、粕谷 毅、石田謙治、
原 信男

監事 1名 矢吹 賢二

書面表決 : 理事 7名 山口昭彦、鷹野賢次郎、片岡重治、上田恭久、櫻井 慶、
船越 登、小原隆二

オブザーバー出席 : 北日本協会事務局・高橋 秀孝、関東協会事務局・石出信二、
同・藤崎直子、東海協会事務局・安部薫樹、近畿協会・田渕茂雄、
中四国協会事務局・岡崎 博紀

報 道 : 日刊木材新聞社・寺田真一郎、日報ビジネス・徳永杉太

事務局 : 福富亜由美

議 事

第1号議案 令和2年度上半期事業実施状況について

第2号議案 令和2年度各種調査結果報告について

第3号議案 役員改選について

その他 (1) 木質資源安定供給検討会の開催について
(2) 令和3年度の連合会事業について
(3) その他

議事内容

司会 原専務理事

1 理事長挨拶 藤枝理事長

世の中、コロナで大変な時に集まっていたいただき、ありがとうございます。今年はいろ
いろなイベントをなくしており、皆さんと意見交換する場がなかった。折角、今日集ま
っていたいただいたので、各地域協会の状況等をご発言いただき、情報共有していきたい。
特に、関東エリアでは荷物がなく、住宅着工や解体工事の件数が大幅に減少している。
その中で、どのようにしていくか。この後、丁度、ユーザーとの検討会の場がある。何

とか糸口を見つけて、協会だからこそできるアイデアを絞り出しながら、共存共栄していきたい。まずは、理事会で、しっかり議論したい。また、後程、検討会を予定しているので議事進行に協力をお願いしたい。

2 議長選任

定款第36条に則り、藤枝理事長が議長を務めることについて、全員の了承を得た。

3 議事録署名人の選任

事務局から関東協会：粕谷理事、東海協会：石田理事の2名を指名し、了承を得た。

4 議 事 議長 藤枝理事長

第1号議案 令和2年度上半期事業実施状況について (原 専務理事)

はじめに、事業実施の概要について次の説明があった。

令和2年度はコロナ禍にあって、大幅な住宅着工の減少を受けて建設系廃木材の発生が大きく減少している。一方で、テレワークの拡大等、ビジネス面の変化もある。これらにより、従来の事業が制限される中、認定NPO法人の更新があり、事務局内部の整備を精力的に進めた。また、国の研究会へ参加するとともに、関係機関と連携し、新たな課題に対して事業を進めてきた。

次に、定款5条の事業に即して次の説明があった。

- (1) 木材資源等の再利用に関する出版物、ホームページ等による普及啓発事業
 - ・ホームページのCMSの入替、最新情報の提供に取り組んだ。
- (2) 木材資源等の再利用に関する環境保全のための、イベント、セミナー、シンポジウム、講演等の開催事業
 - ・コロナ禍にあって、総会が開催できず、実施していない。
 - ・イベントの参加についても同様である。
- (3) 木材資源等の再利用に関する技術及び法案整備のための調査、研究事業
 - ・国への要望について調査広報委員に対してメールにより意見聴取するなど、内容を検討して関係省庁に提出した。その回答の場として、本日、参加者を絞って木質資源安定供給検討会を開催する。
 - ・ユーザー調査及び生産会員調査について、調査広報委員に対してメールにより意見聴取し、新たに新型コロナウイルスの影響について質問項目を追加した。
 - ・FIT認定事業について、11月現在で104事業所を認定している。
- (4) 木材資源等の再利用を通じた環境保全に関する情報提供事業
 - ・木質資源安定供給検討会を開催する。
- (5) 木材資源等の再利用に関する活動を行う団体に関する助言、指導又は援助に関する事業
 - ・関東協会総会（メールによる開催）と東海協会総会（リモートによる開催）に参加した。

- ・林野庁及び資源エネルギー庁の研究会に参加した。
- ・寄付金について360万円を目標に設定しているが、目標に届いておらず、引き続き協力の呼びかけがあった。

続いて、参考として、令和2年度収支状況経過報告に関して主な事項について説明があった。収入面は寄付金を除いて予算通りとなっている。支出面はコロナの関係で会議や調査が実施できず、例年に比べて支出額はかなり少なくなる予定である。その中で、寄付をお願いしているが、連合会の今後の財政基盤の強化のためである。

以上の説明に対して、特に意見はなく、了承された。

第2号議案 各種調査結果報告について (原 専務理事)

2つの調査について、木質資源安定供給検討会の資料にそって以下の説明があった。

ア 木質バイオマス需要調査 (ユーザー調査)

サーマル利用の年間予定数量や割合など、例年調査の結果について報告があった。価格面では木質チップは年間ほぼ一定が76%、チップ以外の木質バイオマスは65%であった。また、供給者や連合会への意見のほか、今回新たに調査した新型コロナウイルスの影響では、今後の懸念事項、海外調達、製紙・ボード関係の生産減、住宅着工の減少による影響などの意見があった。

イ 木質チップ等生産会員実態調査

取扱量は、昨年と比べてやや減少している。品目別では、建設系廃木材がやや増加しているが大きな変化はない。生産割合についてはマテリアル利用がやや増加している。今回新たに調査した新型コロナウイルスの影響では、各地域とも現場の動きが悪いが、大都市圏ほど発生量が減少しているとの感覚がある。

この二つの調査は木質資源安定供給検討会に報告し、精査したのちホームページに掲載する。

以上の説明に対して、特に意見はなく、了承された。

第3号議案 役員の改選について (原 専務理事)

令和3年度に改選を迎えるが、役員・役職とも現行の体制を継続するとともに、承認いただければ来年の総会に提案したい旨の説明があった。

藤枝議長

来年の総会で迎える役員改選について、この時期に提案があった。提案の方向で進めたいが、どうしても都合が悪いことがあれば、事務局と調整することでよいか。

鈴木副理事長

来年の総会はいつ頃を予定しているか。

事務局

総会は令和3年5月20日、21日、27日を予定している。27日を第1候補日としている。会場については未定である。なお、総会に諮る議案を審議する理事会は、4月28日にグーンのみなどオフィスで開催する予定である。時間については来年に入って連絡する。

以上の説明に対して、特に意見はなく、了承された。

その他 以下、事務局で進行

(1) 木質資源安定供給検討会の開催について

本日、理事会終了後に同会場で開催するとの報告があった。

(2) 令和3年度の事業について

令和3年度の事業計画策定の参考とするため、事業計画の留意点について説明があったほか、主な事業について次の相談があった。

- ・ホームページのデザインやパンフレットの作成に関して、調査広報委員会で検討したい。

- ・コロナの関係で実施できるかどうかわからないが、先進地視察の候補地に関して、4月の理事会を目途に提案をいただきたい。

(3) その他

新しく賛助会員となった2社（環境保全株・ヒラオカ石油株）について、紹介があった。なお、ヒラオカ石油の資料について一部訂正があった。

また、この報告に関して以下の意見があった。

鈴木副理事長

環境保全株とは長年の付き合いである。環境分析の実績に関して横ばいか。せっかく会員になったのだから、この機会に委託について仕切り直して、実績が増えるように事務局で取り組んでほしい。

矢吹監事

単価表も変わっているので周知したい。

藤枝理事長

会員への郵送物があれば、それも活用してはどうか。

事務局

ご提案を受けて、会員への周知とともに、実際に紹介する場を設けるなど、実績が増えるような工夫をしていきたい。

以上で理事会を閉会した。

閉会 13:45

以上をもって全ての議案は終了し、この議事録通り相違ないとして、議長及び議事録署名人において記名捺印する。

令和2年12月3日

議 長 理 事 長 藤 枝 慎 治 ⑩

議事録署名人 理 事 粕 谷 毅 ⑩

議事録署名人 理 事 石 田 謙 治 ⑩

議事録作成人 専務理事 原 信 男 ⑩